

日本医師事務作業補助研究会

第10回 広島地方会

テーマ：医師事務作業補助者の教育・人材育成

日時：2021年3月14日（日）14：00～15：30

講演：「キャリアパスモデルを活用した医師事務作業補助者の人材育成」

医療法人溪仁会 手稻溪仁会病院 教育研究センター 課長代理

日本医師事務作業補助研究会 副理事長 南木由美

事例報告：事例を共有しよう！「当院での人材育成」

① 脳神経センター大田記念病院 事務部 カスタマーサービス課 小川優子

② 沼隈病院 医局（ドクターアシスタント） 田中有希子

広島地方会では、この度初めてのオンライン研修会を開催いたしました。

初めてのオンライン開催のため、不安はありましたが、広島県内に限らず、日本全国からご参加いただき、大変ありがとうございました。

まずは、開会の挨拶・・・と、開始早々、挨拶される大田先生がいらっしゃらないというハプニングはありましたが、そこは何とか広島支部長（小川さん）が代役を務められ、無事開始となりました。

南木さんのご講演内容は、キャリアパスモデルを活用した人材育成ということで、わかりやすい図や表を用いてお話して頂きました。現在、上司等の方から教わり、教わる方によって指導にばらつきがある病院さんもあるとのことで、ラダーやキャリアパスモデルを取り入れられれば、同様の教育が得られ、さらに個々のステップアップしやすい環境やモチベーションアップにもつながると感じました。すでにキャリアパスモデルを取り入れられている病院さんも、改めて今後の医師事務作業補助者の躍進できる環境づくりのプラスになったのではないかと思います。

また、事例報告では、2つの病院での事例を報告して頂きました。医師事務作業補助者としての取り組みや病院内での配置、業務内容など、病院ごとに特色があり、大変勉強になったと思います。

質疑応答の時間では、チャットに質問を入れて頂き、それを司会者が拾って、講演者に質問していく形式を取りました。たくさんの質問をして頂き、皆さんの関心の強さを感じました。

初めてのオンライン研修会は、ハプニングや今後の課題もみられましたが、なんとか無事終了しました。ご参加頂いた皆様、大変ありがとうございました。また今回ご参加頂けなかった方も、ぜひ情報交換の場として次回の地方会にご参加頂ければ幸いです。

報告者 荒木脳神経外科病院 北川幸子